

## フランスでのアーティスト・イン・レジデンス 参加アーティストの公募

日仏メディアアート・フェスティバル  
「デジタル・ショック」 & 「可能世界のクロニクル」賞  
(メディアアートの新しいクリエイションのための国際賞)

日本とフランスの2つのメディアアートフェスティバル「デジタル・ショック」(主催：アンスティチュ・フランセ日本)と「可能世界のクロニクル」(主催：Zinc、Seconde Nature、協力：ラ・フリッシュ・ラ・ベル・ドゥ・メ)は、フランスでのアーティスト・イン・レジデンスに参加する日本人アーティストを公募いたします。

選定されたアーティスト(1名)は、2ヶ月間のフランスでの滞在制作の機会が与えられ、宿泊施設および制作スペースの提供と、キャリア発展のための多くの専門家との交流の機会が設けられます。

滞在中に制作された作品は、2015年10月7日から11月22日に、フランスのエックヌ・マルセイユ・メトロポールで行われるフェスティバル「可能世界のクロニクル」にて展示されます。

### 【フェスティバル「可能世界のクロニクル 2015」テーマ】

「私たちはまだモデルに沿って作品を作るのだろうか？」

(仏語：Œuvrons-nous encore d'après modèle ?)

世界をより深く理解しそれについて語るために、世界をモデル化し模倣するという方法が、アーティストたちの間でますます多く採用されています。この方法はまた、科学者たちが取り組む課題や実践とも一致しています。デジタル時代のアーティストたちは、この現実世界を視覚機械を駆使しながら解釈し、検証し、変換し、客観的に解読します。自然の模倣、つまりルネサンスの遠近法に基づいて形式化された世界の表象モデルは、デジタル技術の使用によって新しい反響を呼んでいます。

※フェスティバル「可能世界のクロニクル」とは？

フランスのアート組織 ZINC ([www.zinclafrique.org](http://www.zinclafrique.org)) と Seconde Nature ([www.secondenature.org](http://www.secondenature.org))、マルセイユの芸術文化の中心施設であるラ・フリッシュ・ラ・ベル・ドゥ・メ ([www.lafrique.org](http://www.lafrique.org)) が共同で開催する国際フェスティバル。展覧会やパブリック・スペースでのインスタレーション、パフォーマンス、シンポジウム、ワークショップなどが二ヶ月にわたり開催される。

## 募集内容

### 新しいテクノロジーを駆使したプロジェクトに贈られる賞

この滞在プログラムは、デジタル技術を使った分野横断的なアート作品の創作を支援するためのものです。新しいテクノロジーやメディアの使用や開発・研究に関わる、あらゆるフォルムや様式のプロジェクトを選考対象とします。エレクトロニック・ミュージック、サウンドアート、ビジュアルアート、パフォーマンスアートなどで、新しい表現や言語の発見を促し、新しい美の経験を創出するプロジェクトを評価します。

### 【応募条件】

- ・ 日本国籍を有し、2015年4月1日現在で35歳以下の方を対象とします。
- ・ 英語またはフランス語でのコミュニケーションが可能な方。

### 【応募方法】

下記の書類を英語と日本語で、送付先アドレスまでお送りください。

- ・ プロジェクトの企画書
- ・ 企画プロジェクト制作費についての予算書
- ・ テクニカル・ライダーと必要機材リスト
- ・ 自己紹介文とポートフォリオ（写真や図、ビデオなど）

送付先：digitalchoc.cmp@gmail.com

応募締切：2015年4月26日（日）必着

### 【選考方法】

選考は、キュレーターやフランスおよび日本の文化機関の責任者等によって構成された選考委員会が行います。

選考委員会メンバー：

- ・ 港千尋（写真家、美術評論家、多摩美術大学教授）
- ・ Mathieu Vabre（Seconde Nature アートディレクター）、他

### 【結果発表】

2015年6月15日

受賞者にメールでお知らせいたします。また以下のウェブサイトでも発表いたします。

<http://www.institutfrancais.jp/tokyo/events-manager/prix-digital-choc-chroniques-des-mondes-possibles/>

## 受賞後の流れ

### 【制作滞在期間中の利用施設とサポートについて】

- ・ ZINC および Seconde Nature は、受賞者が制作のために必要とするスタッフの確保と機材提供を行います。またラ・フリッシュ・ラ・ベル・ドゥ・メ内の複数のスペースを使用することができます（ファブラボ、デジタル機材のあるダンススタジオ、舞台など、受賞者との相談の上決定します）。
- ・ レジデンスを行う2ヶ月間にわたり、ヴィラ・ドゥ・ラ・フリッシュ・ラ・ベル・ドゥ・メの施設内にある宿泊場所と日当が提供されます。作品制作費として 3,000 ユーロの助成金が受賞者に与えられます。
- ・ 日本ーフランス間の往復渡航費は主催者が負担いたします。

### 【スケジュール】

- ・ **2015年8月8日～10月8日**：フランス ラ・フリッシュ・ラ・ベル・ドゥ・メでの制作滞在
- ・ **2015年10月7日～11月22日**：フェスティバル「可能世界のクロニクル」での作品展示
- ・ **2016年2月**：第5回「デジタル・ショック」での作品展示

本件に関するお問い合わせ：

[digitalchoc.cmp@gmail.com](mailto:digitalchoc.cmp@gmail.com)

（件名に「お問い合わせ」とご明記ください。質問は日本語でもお受けいたします。）